

経営比較分析表（令和元年度決算）

岐阜県 下呂市

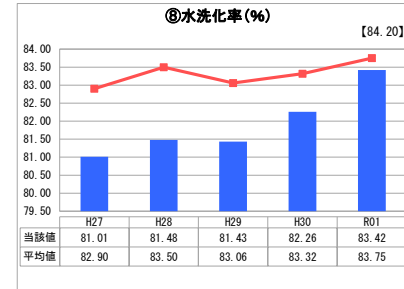
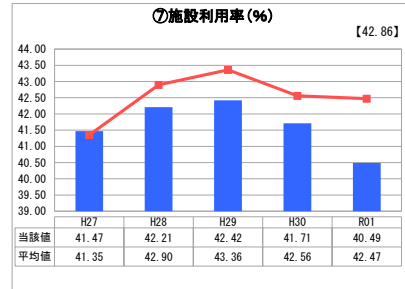
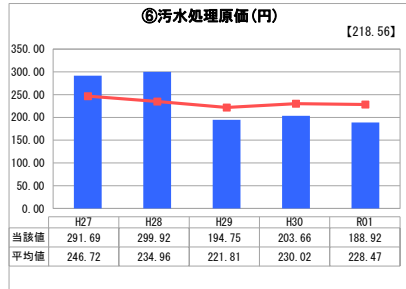
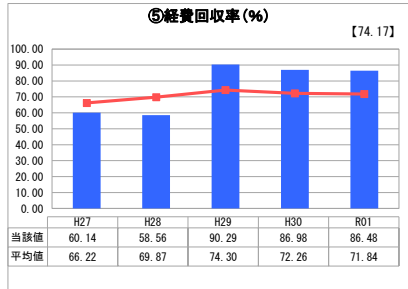
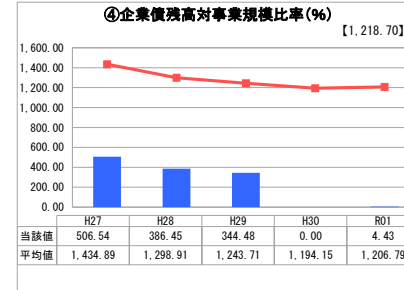
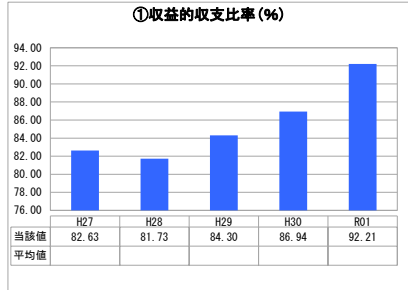
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	46.27	89.30	3,459

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
32,008	851.21	37.60
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
14,649	6.51	2,250.23

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

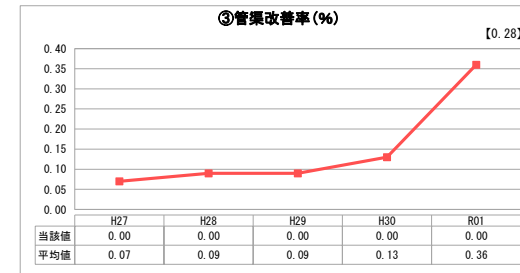
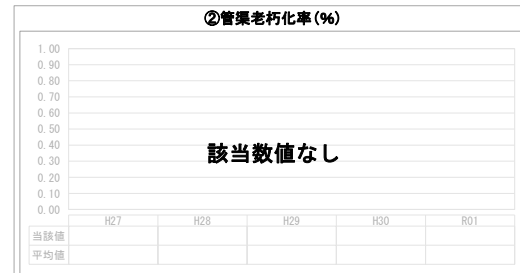
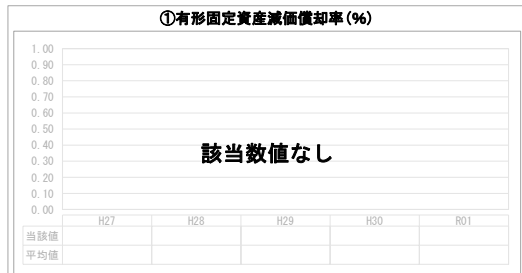
収益的収支比率は前年度より5.27%増えているが赤字の状況は続いている。類似団体と比較して汚水処理原価は低く経費回収率は高いが、100%を下回り、汚水処理にかかる費用を一般会計からの繰入金で補っている。今後の更新投資の費用確保と維持管理費削減を図り、人口減少傾向にあるが接続率の向上が健全な経営への課題である。

企業債残高は概ね減少傾向にあるが今後の更新投資の費用確保のため、これまで以上に一般会計からの繰入金で収入不足を補うことが必要となるおそれがあり、将来を見込んだ効率的な投資と接続率の向上に取り組む必要がある。

2. 老朽化の状況について

供用開始後概ね20年を過ぎた老朽が進む施設が多く、機器の更新が迫られている。今後はストックマネジメント計画を策定し計画的な更新と不明水調査等を実施し管渠の改善を継続して行う。

2. 老朽化の状況



全体総括

人口減少などにより、有収水量・水洗化率が減ると共に基金が枯渇したなかで老朽した施設の更新や耐震化に取り組むこととなる。料金改定を含む財源の確保を検討し、処理区域の統合など効率的な投資・運営を心がける。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。